

# きれい 甲斐

No.46 MARCH 2009

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。  
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内  
TEL.055-223-1503 FAX.055-223-1507 ✉ kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp  
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

## やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムを開催しました

1月24日、「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を(財)やまなし環境財団との共催で開催しました。当日は、休日にもかかわらず、およそ120名の方が参加し、活発な意見交換がされ、盛況のうちに終わりました。

フォーラムの前半では、環境保全に向けた活動を実践している3団体から、活動内容を紹介していただきました。

山梨県地球温暖化防止活動推進センターは、家電製品の消費電力を測定するワットチェッカーの貸出など、地球温暖化防止に向けた取り組みについて発表しました。

続いて、山梨市日下部公民館婦人学級は、不要になったネクタイで小物入れを作ったり、着られなくなったセーターでスリッパを作るなど、不要になったものを再利用する取り組みや、天然材料を使用した炭づくり、エコクッキングについて発表しました。

最後に、山梨県生活学校連絡会は、「レジ袋減らし隊」におけるスタンプカードを利用したキャンペーン活動の実施状況や、県民の日でのマイバッグ持参運動など、ごみの減量化に向けた活動について、発表しました。

フォーラムの後半では、「ごみの減量化の具体的推進活動」と「生活の見直しとCO<sub>2</sub>削減の取り組み」の2つのテーマに分かれて、全員参加型のワークショップを行いました。参加者からは、様々な環境に対する取り組みについての意見が出され、活発な意見交換がされました。

ここで、主な取り組みの内容について紹介します。



山梨県地球温暖化防止活動推進センター



山梨市日下部公民館婦人学級



山梨県生活学校連絡会

ワークショップの様子



### ◆テーマ◆ 「ごみの減量化の具体的推進活動」で出された主な取り組み

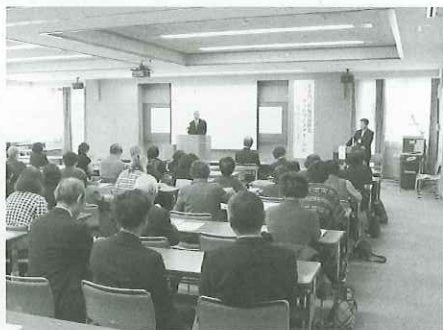
- ・冷蔵庫の中の古い食材をチェックして無駄な食材を買わない、食べきれぬ分の料理を作る、残さず食べる
- ・捨てる前に再利用できないか考える、長く使えるものを買う
- ・おむつや生理用品を布にする
- ・生ごみを天日で乾燥してから出す、生ごみをコンポスト化する
- ・プラスチック、ミックスペーパーを徹底的に分別する、各家庭に専用分別ボックスを設置する、瓶の色分別を機械化する
- ・家庭内での教育、エコライフカルタ
- ・郵便物を電子メールにする

## ◆テーマ◆「生活の見直しとCO<sub>2</sub>削減の取り組み」 で出された主な取り組み

- ・公共交通機関の利用、エコドライブ、自転車や徒歩で行く、カーシェアリング、車の乗り合わせ
- ・ペレットストーブ、BDFの使用、太陽光発電の導入
- ・風呂に続けて入る、風呂の残り湯を洗濯に使う、ペットボトルに風呂の残り湯をいれて抱いて寝る、太陽熱温水機の使用、温かい肌着の使用、服は汚れたときだけ洗う、米のとぎ汁を庭木にあげる、雨水を庭木の水やりに利用する、地下水の利用
- ・紙の裏面使用
- ・夕食後に家族一緒に過ごす、サンルームで過ごす、コンセントを抜く、テレビの音量を下げる、早寝
- ・減農薬農業、生ごみの堆肥化、腐葉土の利用、緑のカーテン
- ・地産地消、自産自消、家庭菜園
- ・リユース食器、衣服のリフォーム、エコクッキング



ワークショップの様子



参加していただいた方へのアンケート結果では、「価値観や世代の違いのある参加者のそれぞれが、環境を良くするために意見をぶつけ合い、意義のあるものであった」という意見や「多くの人のアイデアや思いを聞くことができ、実際に役立つものであったり、今日からもっと頑張ろうという気持ちにさせてくれる内容だった」という意見など、大部分の方から、今回のフォーラムに参加して役に立ったという感想をいただくことができました。

この場をお借りしまして、御協力いただきました方々に感謝申し上げます。

## 子どもの心に緑の種をまこう！ 幼児緑育研究会



私達の会は「子どもの心に緑の種をまこう！」をモットーに、“緑育キャラバン”と名付けて、県内の幼稚園・保育園を訪問し、子ども達に幼児期から緑や森林のもつ大切な役割を伝えていこうと、活動しています。

また、森林が二酸化炭素を吸収する力にも着目し、子ども達に地球温暖化について考える機会を持ち、環境にも関心をむける目を育てていきたいと思っています。

県土に占める森林占有率が78%という山梨県は、豊かな緑と自然に恵まれた県です。県の財産であるこの緑の資源を次世代に残していくために会員一同がんばっていますので、ご要望がある団体の皆様は以下にご連絡ください。

### ★連絡先★

幼児緑育研究会 事務局長 西谷 務  
所在地 甲府市山宮町3332-12  
電話 055-252-1557

### こんな活動です。



- ・写真で山梨の森林を紹介
- ・森の魅力・不思議を紹介



- ・間伐材で作った積み木で遊ぶ



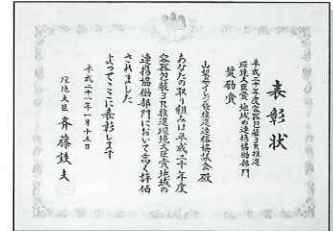
- ・環境教育パネルシアターを行う

# 容器包装3R推進環境大臣賞 奨励賞を受賞!

## 山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会

山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会は、平成20年度容器包装3R推進環境大臣賞「地域の連携・協働部門」において奨励賞を受賞し、平成21年2月6日に山梨県庁において、授与式が行われました。授与式では、協議会の金子栄廣会長(山梨大学教授)がメンバーを代表して、環境省関東地方環境事務所から表彰を受けました。

受賞内容は、レジ袋の無料配布中止を推進するため、協議会が中心となって、事業者、市民団体に加え、県と市町村が協定を締結し、マイバッグ等持参率(83.7%、20年7月現在)の向上により容器包装廃棄物のリデュースに大きな成果を上げたことが評価されたものです。



### 金子栄廣会長の受賞コメント

協議会の活動が全国レベルで認められたということでも嬉しく思います。今回の受賞は、委員の皆様、そしてマイバッグを利用してくれた県民一人ひとりの協力によるもので、改めて感謝申し上げます。

表彰をいただいたことで注目される活動となっていることから、今後、全国に誇れるような活動となっていくように一層努力して参ります。



### 「山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」参加者募集

山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会では、協定に参加していただける事業者を次のとおり募集しています。

- ◇応募対象者 山梨県内に店舗のある事業者・小売業者
- ◇応募条件
  - ・レジ袋の無料配布を中止し、レジ袋削減に関する取り組みを実施すること。
  - ・レジ袋削減に関する数値目標を設定すること。
  - ・レジ袋削減に関する取り組み状況の報告、公表を実施すること。
- ◇応募期間 平成21年2月16日(月曜日)から平成21年4月15日(水曜日)まで
- ◇問い合わせ 県環境創造課(電話055-223-1506)  
ホームページ<http://www.pref.yamanashi.jp/>「募集一覧」のページをご覧ください。

## 「CO<sub>2</sub>ゼロやまなし」の実現を目指して

### ～山梨県地球温暖化対策実行計画について～ 環境創造課

県では、県民・事業者・行政が連携し、それぞれの立場で積極的に地球温暖化対策の取り組みを進めていくため、「山梨県地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

本計画は、2005年を基準年として、2012年までに基準年比29.1%、2020年までに基準年比36.4%の二酸化炭素を削減(森林による吸収量も含む。)することを目標としています。

また、計画の長期的なビジョンとして、再生可能エネルギーの積極的な導入、森林整備によ

る吸収、排出権取引等の新たな手法をフルに活用していくことにより、おおむね2050年には、県内の二酸化炭素の排出と吸収がプラスマイナスゼロとなる持続可能な低炭素社会「CO<sub>2</sub>ゼロやまなし」の実現を目指します。

今後、県では計画実現に向けて、様々な施策を進めていきますので、皆様のご理解と積極的な取り組みをお願いいたします。



# ペレットストーブを導入しました



ペレットストーブ

## 山梨市役所 環境課新エネルギー推進室

山梨市では、地球温暖化対策として、化石エネルギーの代わりに、木質バイオマスエネルギー(木のエネルギー)を活用する取り組みを推進しています。

この一環として、木のエネルギーの新しい活用方法をみなさんに見ていただけるように、平成20年11月から移転した新庁舎の東館エントランスホールに、ペレットストーブを設置しました。

ペレットとは、間伐材や林地残材、製材時の端材などを粉砕して圧縮成型した、長さ2cm直径6mm位の固形燃料です。形がそろっていて乾燥しているため、自動供給や温度調節ができます。

設置したペレットストーブは、最大暖房出力が10,000kcalで、燃料タンクには14kgのペレットが入ります。1日で約7時間稼働して、約7kgのペレットを使っています。また、山梨市では、市民や市内の事業者のみなさんにも木のエネルギーを活用していただけるように、平成21年1月から、ペレットストーブや薪ストーブの設置についての補助金制度を始めました。補助金に関するお問い合わせは、山梨市役所環境課新エネルギー推進室(TEL0553-22-1111)までお願いします。



燃料となるペレット

## 会員リレートーク

Vol.7

## 一人ひとりの思いと力をつなぎ、 エコ活動を推進していこう

### あしたの山梨を創る生活運動協会長 飯窪さかえ

毎年1回、県内の地域づくりに携わる各種集団・団体・グループ等の方々の交流の場として、日頃から取り組んでいる活動の中での問題について情報交換をすることで、その課題解決を図り、地域活動を一層推進していく方策を考える機会とするため、研究会を開催しています。

今年度は、2月7日に「ぴゅあ総合」において、「3R運動の具体的実践」をテーマに、特にワークショップを行いました。参加者の熱心な意見交換は、決められた時間内には終われない状況でした。内容としては、廃棄物削減・生ごみ減量化・地球温暖化対策・レジ袋削減・水資源の問題・自動販売機等々、個人や家庭のエコ意識の問題から何をどのように実践していくかという意見が続出しました。

結果として、3R運動の推進は、まず一人ひとりが、もっと考えて、ひとつずつでも必ず実践していくことが、小さな力が大きな力となって社会を変えていく基になるのだということを確認するとともに、これからの活動は問題解決を目指す活動として、人と人とのつながりを強め、まちづくり活動へと波及していかなければならないと再認識することができました。



ワークショップの様子



手作り品販売コーナー・出店者

## お知らせ

「きれいな甲斐」は送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページよりダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局へご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局(県環境創造課内)

TEL: 055-223-1503/FAX: 055-223-1507 E-mail: kankyo-sozo@pref.yamanashi.jp

## 投稿募集中

### 【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

### 【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。